



# クラウドサイン Salesforce 版

## V2.0 バージョンアップ リリースノート



最終更新日 : 2019 年 6 月 10 日

## はじめに

リリースノートではクラウドサイン Salesforce 版の主要な新機能や既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能、機能強化には既存環境に影響を与える可能性があります。より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトを参照ください。

ヘルプサイト： <https://doc.terrasky.com/display/CLOUDSIGN>

## 目次

1. Lightning Experience への対応.....	4
2. 書類の締結状況の即時確認.....	6
3. 締結済み書類ファイルの個別ダウンロード.....	7
4. 取引先責任者以外から書類を送信する場合の機能改善.....	8
5. 書類送信画面のタイトルを初期設定可能に.....	9
6. バッチログ削除機能の追加.....	10
7. オブジェクト権限、項目レベルセキュリティのチェック処理の追加.....	10

## 1. Lightning Experience への対応

パッケージに含まれる画面やアプリケーションを Lightning Experience に対応させました。

### 1. パッケージに含まれる画面

これまで、書類送信画面、リマインド画面、バッチスケジュール登録画面は、Lightning Experience 環境で表示すると、Salesforce Classic デザインのまま表示されていたため、違和感がありました。今回の対応により、Lightning Experience 環境でも違和感なく利用できるようになります。

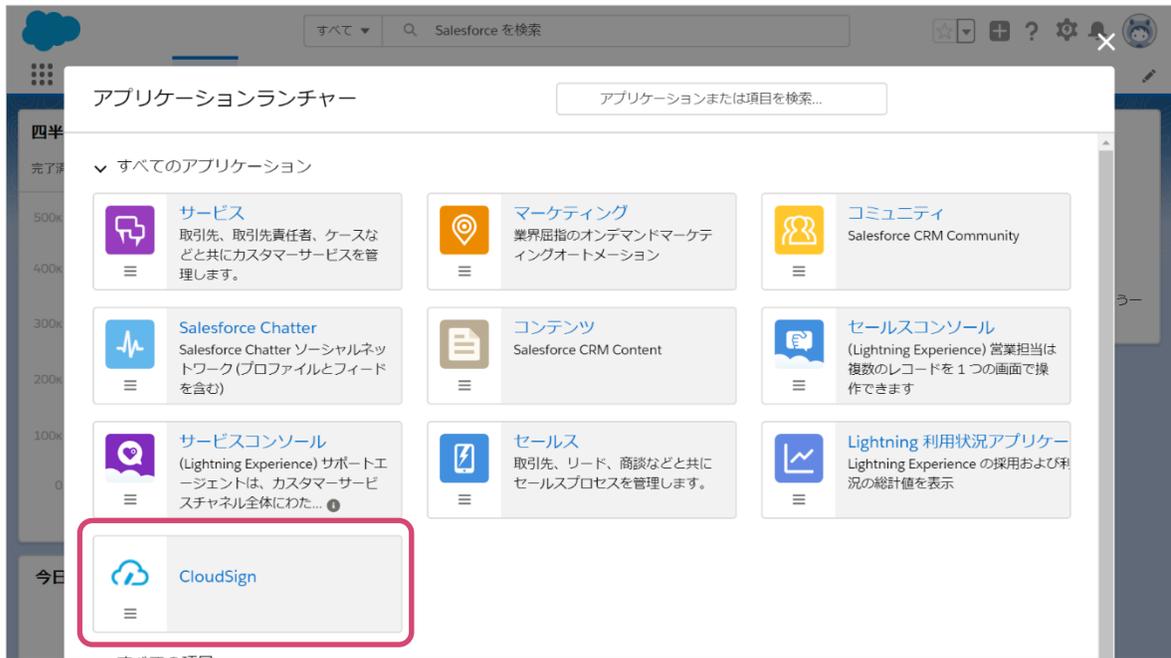
The screenshot shows the 'クラウドサイン書類送信' (CloudSign Document Sending) interface. The page header includes the CloudSign logo, a search bar with 'Salesforce を検索', and navigation links for 'ホーム' and '取引先責任者'. The main content area is divided into several sections:

- 送信先情報** (Recipient Information): Includes a dropdown for '送信先' (Recipient) set to '小林 大輔' (Takashi Kobayashi) with email 'd\_kobayashi@terraken.co.jp' and company '株式会社テラ建設' (Terra Construction Co., Ltd.). A '必須情報' (Required Information) icon is present.
- 書類情報** (Document Information): A 'タイトル' (Title) field containing '基本契約書の送付' (Delivery of Basic Contract Documents).
- 送信ファイル** (Sending Files): A grid of six '添付ファイル' (Attachments) dropdown menus. The first is set to '基本契約書' (Basic Contract Documents). There is also an 'アクセスコード' (Access Code) field.
- 送信先** (Recipients): A grid of six '送信先' (Recipients) input fields. The first is filled with the same recipient information as above.
- 送信設定** (Sending Settings): A dropdown for '受信者のメール言語' (Recipient's Email Language) set to '--なし--' (None), and a checkbox for '書類の転送を許可' (Allow Document Transfer) which is currently unchecked.

At the bottom, there are '送信' (Send) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

## 2. アプリケーション

これまで、Lightning Experience 環境で利用するには、システム管理者が Lightning Experience 用にアプリケーションを追加する必要がありました。今回の対応により、アプリケーションを追加することなく利用できるようになります。



## 2. 書類の締結状況の即時確認

書類の送信後、送信先が書類を締結したかを、送信先ごとに任意のタイミングで確認できるようになりました。

これまでは、システム全体で定期的にスケジュールされたタイミングでしか確認できなかったため、送信先から書類の締結の連絡を受けても Salesforce へすぐに反映されませんでした。また、書類の確認状況をチェックするには、クラウドサインにログインする必要がありました。

今回のバージョンアップにより、送信先オブジェクトに [書類の確認] ボタンを追加することで、ユーザーが任意のタイミングで書類の締結状況を確認できるようになりました。

システム全体の定期的なスケジュールでの確認は、これまで通り利用できます。

The screenshot shows the Salesforce interface for a user named 小林 大輔 (Takashi Kobayashi) at 株式会社テラ建設 (Terra Construction Co., Ltd.). The '書類を確認' (Check Documents) button is highlighted with a red box. Below the header, there are sections for '関連' (Related) and '活動' (Activity). The '関連' section shows a message about duplicate records and a list of files, including '秘密保持契約書' (Confidentiality Agreement) and '基本契約書' (Basic Contract). The '活動' section shows a '新規ToDo' (New To Do) list and a '次のステップ' (Next Steps) section.

クラウドサイン管理	ステータス	タイトル	締結済ファイル
000001	先方確認中	秘密保持契約書の送付	
000000	締結済	基本契約書の送付	Download

- ※ Salesforce Classic でも利用可能です
- ※ 送信先オブジェクトにカスタムオブジェクトを利用する場合は、カスタムオブジェクト用の [書類を確認] ボタンを作成する必要があります

### 3. 締結済み書類ファイルの個別ダウンロード

締結済みの電子署名が付与された書類ファイルを、任意のタイミングでクラウドサインからダウンロードできるようになりました。

締結済み書類ファイルは、書類が締結済みになると必ずクラウドサインからダウンロードされ、Salesforce のストレージに保存されます。そこで、下記の機能を追加することにより、締結済み書類ファイルを任意のタイミングで Salesforce に保存できるようにしました。これにより Salesforce のストレージの使用量を抑えることが可能になります。

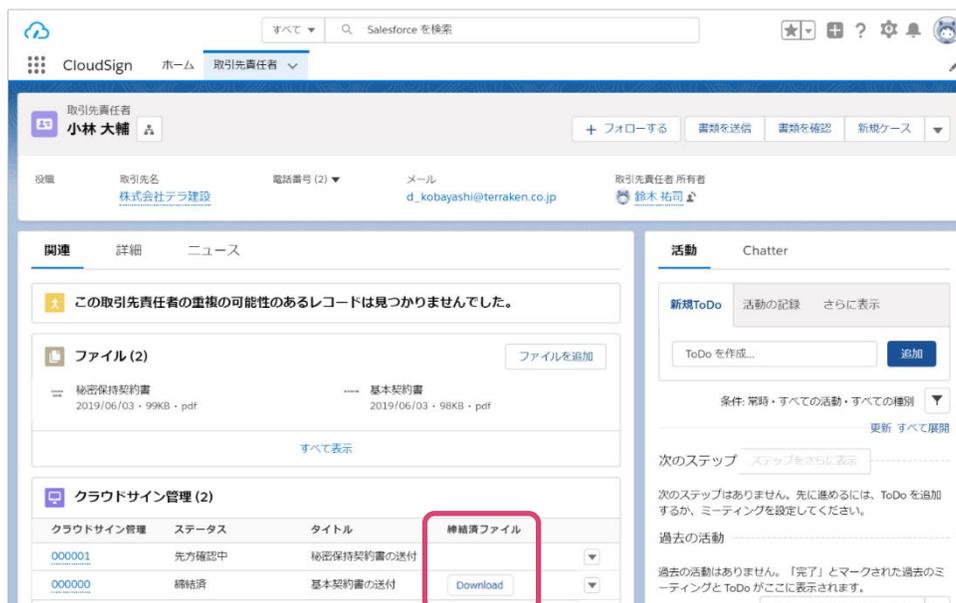
#### 1. 書類送信ごとのダウンロードを可能に

クラウドサイン管理オブジェクトに「締結済ファイル」項目を追加しました。この項目を関連リストに追加することで任意のタイミングでダウンロードが可能になります。

#### 2. 定期的なスケジュールでの書類ファイルのダウンロード実行を停止

書類送信ごとにダウンロードが可能になっても、定期的なスケジュールで必ずダウンロードされてしまうと、二重にダウンロードされてしまいます。これを防止するために、定期的なスケジュールではダウンロードを停止する機能を追加しました。

システム全体の定期的なスケジュールでの確認は、これまでどおり利用できます。



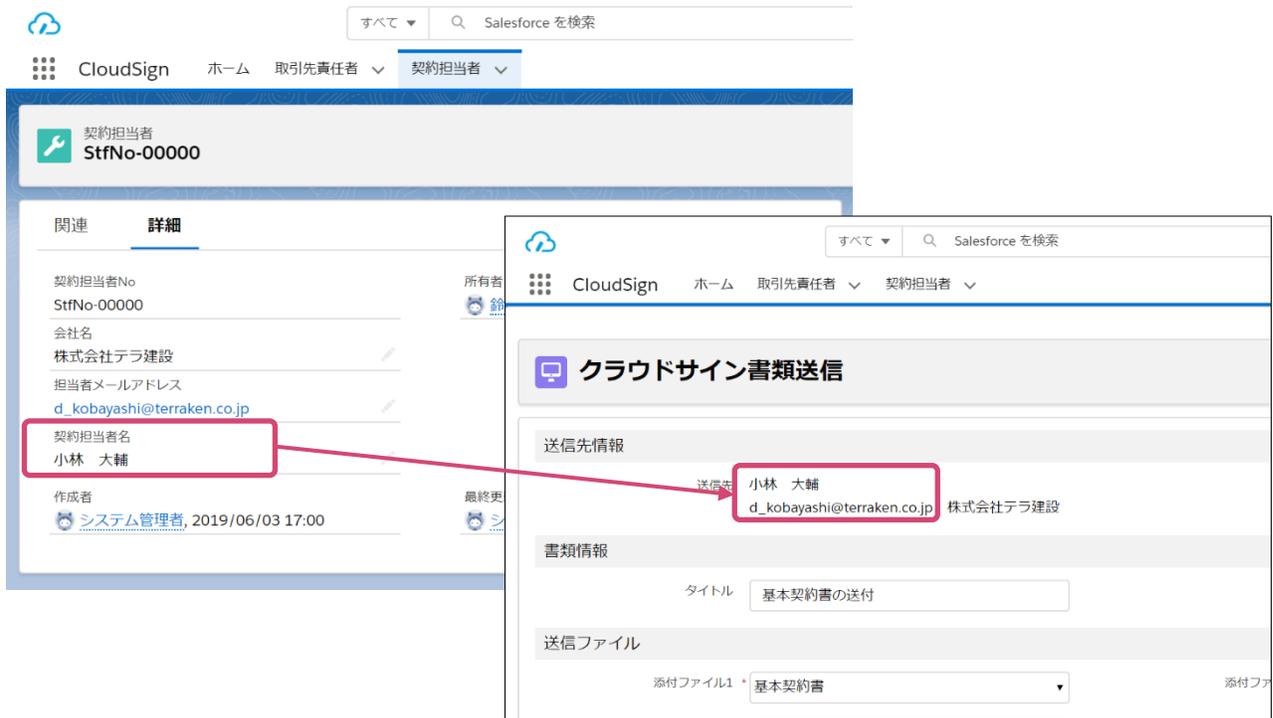
- ※ Salesforce Classic でも利用可能です
- ※ 送信先オブジェクトにカスタムオブジェクトを利用する場合は、カスタムオブジェクト用の [締結済ファイル] 項目を作成する必要があります

## 4. 取引先責任者以外から書類を送信する場合の機能改善

送信先オブジェクトにカスタムオブジェクトを利用している場合、以下が可能になりました。

### 1. 送信先名に Name 項目以外を設定可能

これまで送信先名には Name 項目を使用していたため、Name 項目を自動採番や氏名以外の項目として利用しているオブジェクトは、送信先オブジェクトとして使えませんでした。今回のバージョンアップによって、企業名などの設定と同様に、送信先名の項目も設定できるようになりました。



### 2. 送信先メール項目に数式（テキスト）型を設定可能

これまで、送信先メール項目にはメール型の項目しか設定できませんでした。そのため、送信先のメール項目を親オブジェクトに持っている場合、数式でメール項目の値を参照して送信先として利用することができず、トリガーやプロセスビルダーで値をコピーする必要がありました。今回のバージョンアップにより、データ型が数式（テキスト）型の項目も利用できるようになり、利便性が高まります。

## 5. 書類送信画面のタイトルを初期設定可能に

書類送信画面のタイトルに、デフォルト値を設定できるようになりました。

これまで、新規の画面表示時は空欄で、すべて手入力するか、1つ目の添付ファイルを選択した際にコピーされたファイル名を修正するか、といった手間がありました。そのため、タイトルの入力を簡略化したい、送信先オブジェクトの値を引き継いでタイトルに設定したいといった要望を受け、URL パラメータで初期設定ができるようにしました。

The screenshot displays the CloudSign interface within a Salesforce environment. The top navigation bar includes the CloudSign logo, a search bar, and user navigation options. The main content area shows a profile for '小林 大輔' (Takao Kobayashi) with contact information. Below this, a '関連' (Related) section lists various fields for the contact, including '書類タイトル' (Document Title) which is highlighted with a red box and contains the text '基本契約書 (株式会社テラ建設)'. A red arrow points from this field to the 'クラウドサイン書類送信' (CloudSign Document Delivery) screen. In this screen, the '書類情報' (Document Information) section has a 'タイトル' (Title) field, also highlighted with a red box, which contains the same text '基本契約書 (株式会社テラ建設)'. This demonstrates how the title is pre-filled from the contact's profile.

## 6. バッチログ削除機能の追加

書類の確認状況の確認バッチログや、締結済み書類ファイルのダウンロードバッチログを削除する機能を追加しました。

これまで、削除する機能がなかったため、ビューから 1 件ずつ削除するか、開発者コンソールなどでコードを記述して削除する必要がありましたが、今回のバージョンアップで、一括削除が可能になりました。当機能はバッチ処理により削除を行います。システム管理者が、Salesforce の [Apex をスケジュール] 機能を使用して、任意のタイミングで削除機能呼び出せるようになりました。

## 7. オブジェクト権限、項目レベルセキュリティのチェック処理の追加

各機能を使用する際に、それぞれの機能ごとに必要なオブジェクトの権限（参照、作成、編集、削除）と、項目レベルセキュリティ（参照アクセス権、編集アクセス権）をチェックするようにしました。これにより、権限の付与が適切でないユーザーが利用することを防ぐようになりました。

クラウドサイン Salesforce 版 V2.0 バージョンアップ リリースノート

---

株式会社テラスカイ

URL : <https://www.terrasky.co.jp>

E-Mail : [support@terrasky.co.jp](mailto:support@terrasky.co.jp)

---